

おのうえ一彦通信

おのうえ一彦後援会
〒939-2251 富山市下大久保 1978-17
TEL・FAX：076-467-5735
<http://www.onouekazuhiko.com>

令和 5 年 4 月 発行

会報 No.35

ごあいさつ

春暖の候、皆さまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日ごろは、私の活動に対しまして、ご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

政府は、5月8日より、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけを、現在の「2類相当」から季節性インフルエンザと同等の「5類」に引き下げる方針を表明しました。「5類」引き下げに先立ち、3月13日からマスク着用の考え方も見直され、個人の判断に委ねられることとなりました。しかしながら、まだ、マスクを外すことに抵抗を感じる方は少なくないようです。

さて、令和5年3月定例会市議会が、2月28日（月）から3月24日（木）までの25日間の会期で開催され、令和5年度当初予算案および令和4年度最終の補正予算案等の審議が行われ、様々な議論を経て、全ての議案が可決承認されましたので、その概要をご報告いたします。

これからも、地域がますます発展するよう一生懸命活動して参りますので、引き続きご支援賜りますようお願いいたします。

令和5年度 当初予算概要

予算編成の基本方針

国の令和5年度予算案については、歴史の転換期にあって、直面する内外の重要課題の解決に道筋をつけ、未来を切り拓くための予算として、防衛費を増額したほか、4月に「こども家庭庁」を創設し、こども・子育て支援を強化することや、地方財政では、地方交付税総額が令和4年度を上回る金額が確保されるとともに、地域のデジタル化や脱炭素化を支援するなどの予算が組まれています。

本市の令和5年度の歳入については、臨時財政対策債を含む実質的な地方交付税は減少するものの、企業収益の改善、給与所得の増加による市民税の増収や、新增築件数が堅調に推移していることによる固定資産税の増収など、税収は過去最高が見込まれており、市税を含めた一般財源総額は、令和4年度当初予算額を若干上回る見込みとなっています。

これに対して、歳出は、扶助費や繰出金が増加することや、道路・橋りょうなどの社会資本および公共施設の長寿命対策が必要なことに加え、第2次総合計画後期基本計画に位置付けた事業を着実に進める必要があること、さらには、「富山市版スマートシティ」の実現に向けた取組を押し進める必要があるなど、大変厳しい財政状況にあるとされています。

このような状況を勘案し、予算編成は、将来にわたって持続可能な健全財政を確保するため、徹底した歳出の見直しを行うとともに、見込み得る一般財源を最大限活用し、予算の重点的・効率的な配分に努め、編成されています。

また、本市が目指す都市像「人・まち・自然が調和する活力と市とやま」の実現に向け、市民一人ひとりが誇りと希望を持てる予算となるよう厳しい財政状況の中で、最大限の努力がなされた予算となっています。



1. 新型コロナウイルス感染症への対応について

Q：「5類」引き下げ後の各市立病院の対応について問う。

A：市民病院やまちなか病院では、これまでも、新型コロナウイルス感染症の疑いのある患者さんに対し、発熱外来での診察を行っている。加えて、第2種感染症指定医療機関および重点医療機関である市民病院では、入院治療の必要な患者さんの受け入れも積極的に行っていた。今後、感染症法上の位置づけが「2類相当」から「5類」へと引き下げられることにより、病床確保体制等の公立病院に求められる役割がどのように変わるのかを見極めてからではあるが、市民病院における患者さんの治療については、これまでの季節性インフルエンザと同等の診療体制に移行することを基本とし、感染状況に応じて体制を強化することを想定している。一方、まちなか病院では、たとえ季節性インフルエンザであっても重症化しやすい高齢患者さんが多く、また、病床数が45床と限られていることから、病態に応じて市民病院での受け入れをするなど協力していくこととなる。

2. 無痛分娩について

Q：無痛分娩による出産件数が大幅に増加した要因について、見解を問う。

A：市民病院で無痛分娩による出産件数が大幅に増加した要因については、一つに、麻酔科医による安全性の高い無痛分娩を提供していることが認知され、希望する妊産婦が増えてきたこと、二つに、休日夜間の無痛分娩にも対応する体制を整えたこと、三つに、妊産婦検診時に無痛分娩ができることを紹介しているほか、無痛分娩クラスという、無痛分娩に関する説明会の開催により、妊産婦の不安が解消したことが挙げられる。

Q：過去5年間の無痛分娩による出産件数の割合はどのように推移しているか。

A：平成29年度は、総分娩件数333件の内、無痛分娩が66件で、総分娩件数に占める割合は19.8%であった。平成30年度は264件中58件で22.0%、令和元年度は274件中63件で23.0%、令和2年度は177件中70件で39.5%、令和3年度は323件中150件で46.4%となっている。

Q：里帰り出産で無痛分娩を希望される方への対応について問う。

A：無痛分娩を行うには麻酔科医との連携が欠かせないが、市民病院の麻酔科医は無痛分娩だけではなく、他の手術や診療も行っていることから、無痛分娩を行うことのできる件数には限りがある。また、予定よりも早く陣痛が始まる場合もあるため、柔軟に対応できるよう、ある程度の余裕を持った受け入れ態勢が必要となる。このため、無痛分娩を希望される方には事前に予約を頂き、安全確保の観点から、一定のキャパシティを超えない範囲で予約を受ける対応としている。予約の対象となる方は、母子健康手帳の交付を受けている方としており、里帰り出産を予定される方など、市民病院に通院していない方も予約を受け付けている。詳細は、市民病院のホームページで紹介している。

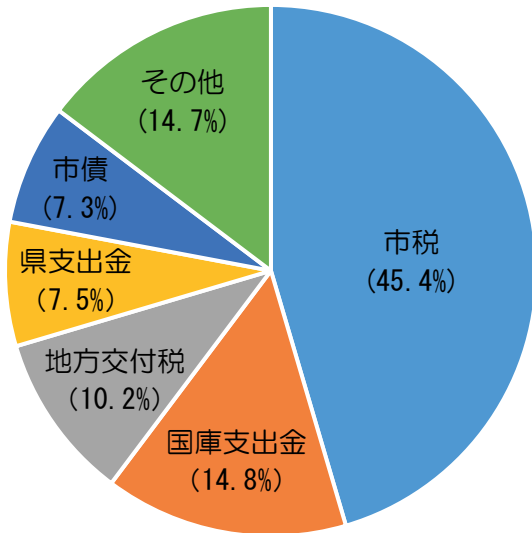
2. 病院施設について

Q：まちなか病院の外来に設置されているトイレは、廊下から丸見えの状態となっており、早急な改修が必要と考えるが、当局の見解を問う。

A：まちなか病院の外来に設置されているトイレの内、まずは、2箇所について、車いすなどを利用される方の動線に配慮しつつ、廊下からの視界を遮ることができる可動壁を設置することとし、現在、改修作業を進めている。

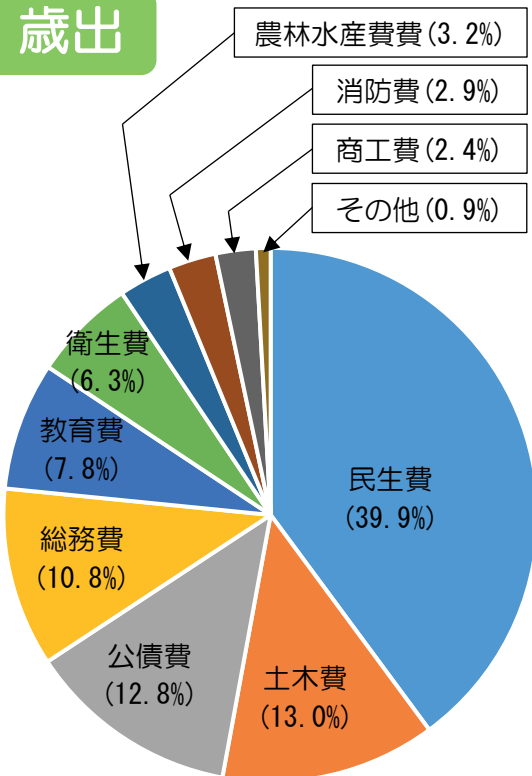
一般会計予算 1,672億5,139万5千円が可決
前年度当初予算比 6億4,686万1千円 (0.4%) 減

歳入



款	予算額[千円]	前年度当初予算比 [%]	
市 税	76,012,887	103.9	
国 庫 支 出 金	24,755,730	101.9	
地 方 交 付 税	17,000,000	109.7	
県 支 出 金	12,616,041	100.1	
市 債	12,285,900	64.5	
地方消費税交付金	11,470,000	110.8	
その他	諸 収 入	3,131,115	97.5
	繰 入 金	2,792,804	119.3
	法 人 事 業 税 金 交 付 金	1,248,000	102.9
	そ の 他	5,938,918	95.9
小 計	13,110,837	101.2	
合 計	167,251,395	99.6	

歳出



款	予算額[千円]	前年度当初予算比 [%]	
民 生 費	66,707,998	101.0	
土 木 費	21,757,933	100.3	
公 債 費	21,485,690	100.0	
総 務 費	18,138,015	85.9	
教 育 費	12,978,322	102.3	
衛 生 費	10,467,971	107.7	
農 林 水 産 費	5,360,049	114.0	
消 防 費	4,801,843	96.2	
商 工 費	4,068,056	102.2	
その他	議 会 費	728,938	98.2
	労 働 費	612,560	103.0
	災 害 復 旧 費	44,020	187.3
	予 備 費	100,000	100.0
小 計	1,485,518	101.7	
合 計	167,251,395	99.6	

※ () 内は構成比

主な事業内容

※ 記載の金額は、事業全体の額

・ スマートシティ推進支援事業費	22,351千円
・ 「(仮称)学校の在り方を検討する有識者会議」費	496千円
・ 自主防災組織育成事業費	9,903千円
・ 高齢者安全運転支援装置設置促進事業費	2,748千円
・ 医療的ケア児保育支援事業費 (医療的ケア児を受け入れる私立保育施設に対する助成)	31,928千円
・ 電子回覧板導入支援事業費 (電子回覧板アプリ導入のための初期費用助成)	6,653千円
・ プロ野球フレッシュオールスターゲーム開催支援事業費	11,280千円
・ スポーツ施設整備事業費 (大沢野野球場屋根防水改修、大沢野野球場スコアボード更新他)	479,000千円
・ すしのまち富山ブランド化事業費	5,000千円
・ ニホンザル対策事業費 (ニホンザルの群れの実態調査、ニホンザルの捕獲強化(報奨金@6,000円/頭)他)	803千円
・ 割山森林公園天湖森整備事業費	502,639千円
・ 高山本線活性化事業費	46,361千円
・ 生活交通対策事業費 (生活バス路線維持費助成、大沢野地域シルバータクシー運行事業助成他)	392,380千円
・ 不登校特例校設置検討事業費	7,880千円
・ サミット給食負担金 (G7教育大臣会合に参加する主要7か国(イギリス、アメリカ、カナダ、イタリア、ドイツ、フランス、日本)の料理を取り入れた給食の提供に係る負担金)	6,000千円

令和4年度 最終補正予算概要

一般会計予算 9億3,582万円が可決

主な事業内容

※ 記載の金額は、事業全体の額

・ 送迎用バス等の改修支援事業費 (障がい児通所支援事業所等が所有するバス等への置き去り防止装置設置費用助成)	19,250千円
・ 放課後児童クラブ送迎用車両安全装置設置補助事業費 (放課後児童クラブ実施法人が所有するバス等への置き去り防止装置設置費用助成)	2,464千円
・ 私立保育施設送迎用バス安全装置設置補助事業費 (私立保育施設が所有するバス等への置き去り防止装置設置費用助成)	5,250千円
・ 婦負斎場再整備事業費	11,000千円
・ 農業用物価高騰対策緊急支援事業費 (畜産農家を対象に高騰している電気料等の価格上昇分を支援)	14,000千円
・ 土地改良事業補助金 (県営土地改良事業負担金、対象地域：富山地域 9地区、大沢野地域 1地区、八尾地域 4地域、婦中地域 1地区)	177,045千円
・ 消雪対策事業費 (東大久保下大久保線消雪施設更新工事(継続)他)	51,700千円

～地域の皆さまからの多くの声をお聞かせください!～